

平成 30 年 8 月 17 日

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部  
平成 30 年度第 2 回 運営推進委員会

<出席者>

塩冶町地区代表,塩冶地区民生委員,出雲市介護相談員・塩冶地区福祉委員,出雲市高齢者福祉課、  
高齢者あんしん支援センター、社会福祉法人星隆会理事長、きいちご倶楽部施設長

<前回の意見/議論の要旨>

- ・4 月、終末期とされたご利用者についてひと月あまり訪問支援を行って、初めての経験であったが、ご家族からは自宅で看取れてよかったと言っていたと報告。
- ・研修で介護の資格を取得しても、取得後辞職して他に行くようなことはないかとの質問があり、現在はない旨を報告。
- ・利用が増えて、職員の態勢はどうかとの質問があり、看護師の採用を報告。
- ・要介護度が改善した利用者（2 から 1 に改善した利用者が 1 ～ 3 月に 2 人）を紹介。
- ・この会議で決まった事、課題とされたことを記録して、次回に報告して、それを踏まえて次の議論をするようにしてはどうかとの提案あり。

<ご利用者の状況>

1. 登録状況

8 月 15 日現在、16 人の方に利用登録いただいている（登録定員：20 人）。

6 月～7 月の間にふたりが入院、その後亡くなられた。

7 月にひとり新規のご利用があった。

8 月に 1 年 8 カ月利用してくださった方がひとり特養に入所された。

現在ふたりが入院しておられる。

要介護度と男女別の人数は次のとおり。平均要介護度:2.3

| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計  |
|------|----|----|----|
| 1    | 4  | 0  | 4  |
| 2    | 3  | 4  | 7  |
| 3    | 1  | 0  | 1  |
| 4    | 2  | 2  | 4  |
| 5    | 0  | 0  | 0  |
| 計    | 10 | 6  | 16 |

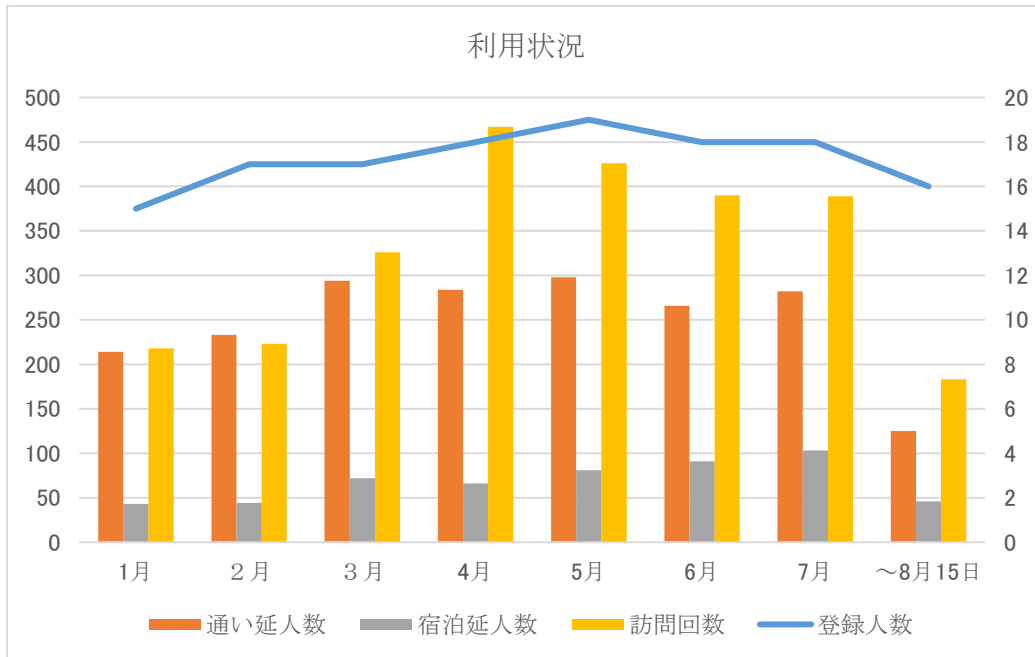
9 月から 2 人のご利用が決まっている。ほかに 1 人のご利用の予定。

ご利用者の活動などきいちご便り 11 号 を参照

2. 利用状況推移

|      | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | ～8 月 15 日 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
| 登録人数 | 15  | 17  | 17  | 18  | 18  | 18  | 18  | 16        |

|       |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 通い延人数 | 214 | 233 | 294 | 284 | 297 | 266 | 282 | 125 |
| 宿泊延人数 | 43  | 44  | 72  | 66  | 78  | 91  | 103 | 46  |
| 訪問回数  | 218 | 223 | 326 | 467 | 398 | 390 | 389 | 183 |



<改善計画の実施状況>

|                    |   |
|--------------------|---|
| A. 事業所自己評価の確認      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第4火曜を職員会、職員研修会として、ご利用者のケース検討、情報共有を行った。</li> <li>・職員研修では6月は「緊急時の対応」、7月は「熱中症」について研修を行った。</li> </ul> |
| B. しつらえ・環境         | 環境美化委員会が各月フロア、車、窓を掃除した  |
| C. 地域とのかかわり        | 6月のクリーンデーに地区の溝の清掃に職員がひとり参加した。   |
| D. 地域で本人の暮らしを支える   | 6月はじめ、笹巻作りに家族が3人来られた。   |
| E. 運営推進会議を活かした取り組み | 改善状況を報告する   |
| F. 防災・災害対策         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出雲市の防災マップが配布されたが、防災地区には指定されていなかった。</li> <li>・6月に消防署の实地指導がある。口頭での確認事項があった。</li> </ul>                |

<職員体制>

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 管理者兼ケアマネ | 1名                     |
| 看護師 非常勤  | 2名                     |
| 介護主任     | 1名                     |
| 介護職員     | 10名（ほかに1人8月から出産休暇に入った） |

<記録>

矢田：暑い日が続いたが、熱中症などで体調を崩す人がなかったか？

山崎：ご利用者で明らかに脱水、または熱中症でという方はなかったが、なんとなく元気がないという方について脱水ではと、水分を勧めるといふケースはいくつかあった。

三木：入院の方がふたりというのはどういう方か。

山崎：骨折、透析の方。透析の方は2か月以上になるが、契約の解除を検討している。

三木：契約書にもそのことが書いてあるのであれば、その提案をしてもいいのではないか。

高見：ボランティアを定期的に受け入れているか。

山崎：現在はない。突発的にはある。

高見：社協たよりにボランティアの募集をすると、反応がある。それらを活用してはどうか。

野津：自分が水戸黄門をボランティアでいくつかの施設にも行っている。

山崎：家族の方、地域の方の力を借りるという意味で、ボランティアを受け入れることは課題である。

---